

意見交換を踏まえた「誰もが使いやすい施設にするポイント」の整理①

施設整備の方向性

ワンストップな
子育て支援拠点

目が届きやすい
空間づくり

静と動の空間に分ける

みんなが使う機能を
施設中央へまとめる

時間帯・空間を分けて
多様な利用者に対応
不登校支援、学童保育所
中高校生、一般など

町外利用者の想定

今後の連携に向けて

子どもに遊びの
きっかけを与え
見守る体制づくり
常駐スタッフ、ボランティア
など運営体制づくり

計画～整備段階からの
町民参画
町民主体の施設づくり

意見交換を踏まえた「誰もが使いやすい施設にするポイント」の整理②

屋内施設について

みんなが一緒に集える
動の機能をまとめる
幼児エリアを分ける

使い勝手を
良くする工夫
手荷物、備品庫、掲示板

フレキシブル
に活用できる空間
シンプル・移動可能
多世代が利用できる遊具

テナント・企業誘致
※ 2階を利用する場合など

いつでもゆったり
気軽に過ごせる空間
図書・キッチン・休憩機能
※ イベント・集会による貸室では
なく、多世代が何もなくても集まれ
る「居間」のような空間

機能・用途に応じた
空間の確保

屋外について

外遊びの空間づくり
プレーパーク
手作り遊具など

池田らしさを出す
ブドウ植樹、トラクターなど

水・砂遊びの場づくり
ぼくらの池の活用
玄関の足洗い場

中と外をつなぐ
休憩できる空間づくり
テラス、日陰、ベンチ

入口ごとの駐車場